



学習塾チャンピオン 塾長

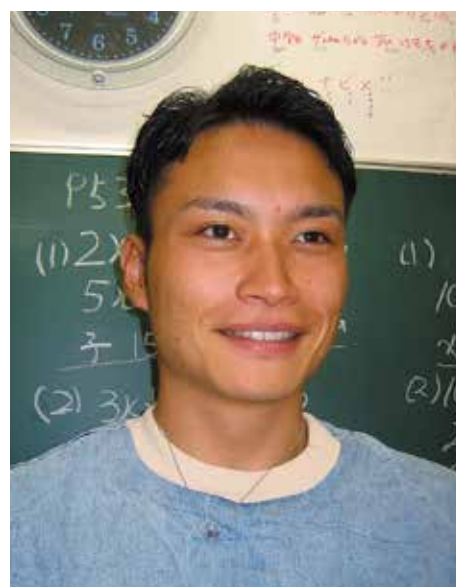
山口輝大さん (29歳) 〓 和田 〓

山口輝大さんは、母が立ち上げた『学習塾チャンピオン』をこれまで折に触れて手伝ってきた。小学校退職後に母から塾長の座を譲られて2年が過ぎた。今までの半生で得た経験を武器に、小学生から高校生までに全ての教科を教えている。

いた自習中の中学生が口をはさむ「そんなのゼンゼンいいじゃん。俺なんかひとケタだった事あるよ」。聞いたとたん小生の顔が輝き、7枚の課題を元気に片づけた。小規模塾ならではの光景だ。おかげで翌日の漢字テストは満点が取れた。

先日こんなことがあった。塾の教室に入ってきた半ベソの小学生にいきなり抱きつかれた。訳を尋ねると、漢字テストが37点だったので担任の先生から7枚ものドリルが宿題に出たと言う。話を聞いて

山口塾長は自分の中学生時代の通知表を大切にしている。年間を通して「2」一つ、あとは「1」と「評定不能」ばかりの通知表の威力を知っているからだ。これを見せると評価「2や3」に悩む子が元気になる。高校生の頃にこの通知表を持つて駆け付け、屋根の上で拗ねている子を救出したこともあると話す。



塾長として自信を持って教えられるのは「自分が人生のどん底から這い上がった

て資格を取り、小学校教師として勤めることができたから」と言う。輝大さんはプロテニス選手を目指していた。軽井沢でレッスンを受けていたが挫折し、バイクのスピードと爆音にのめり込むようになった。当時、警官から「お前、こんなことしてないで将来は白バイに乗れよ」と言われ、この人とは少し仲良くなつた。髪を赤く染めていながら、近所の誰彼にきちんと挨拶をする不思議な青年と思われていたらしい。「どん底から這い上がる」きっかけは、真冬の「外仕事の最中」にあった。佐久市内にある中学校を解体する工事に雇われていた輝大さんの目に、室内でお茶を飲む恩師の姿が映った。「寒くてキツくて、この仕事を一生は続けられない」と思っていたその時だった。教員になって子供たちに教える夢ができたが「大学受験勉強に費やした3年間が今までで一番つらかった」。高校へはスポーツ推薦で入学したので、人生最初の受

験勉強が始まった。1年目は自習、2年目に予備校の選抜試験に合格して2年間通った。「記述式でなくマークシート方式だったから」と輝大さんは言うが、国立琉球大学工学部に合格。その後、私立大教育学部に転部して通信教育で教職課程を修了した。

最近、山口さんの学習塾に不登校児も通うようになってきている。「不登校の子は心にエネルギーが無くなっている。エネルギーが溜まり始めると顔が明るくなってくる」と塾長は言う。「生きていくのが楽しい」と思っている、保護者や学級担任と話し合い、慎重に不登校の原因を探っていく。「勉強したほうがいいのは自分の世界が広がるからだよ」と塾生に教える。自分を支えてくれたのは「俺には分からない分数を、お前は分かるんだろ？ だったら勉強を続けるよ」という、バイク仲間だった友人の言葉だ。こんな言葉をいつも探している。

(取材・文 佐藤万千子)

ゆらさんの四季の薬膳

秋のお芋三きようだい

秋が深まるにつれ、自然界の空気は乾燥してきます。その乾いた空気が直接肺に入るため、口やのど、鼻のかわきや咳の原因となります。肺は潤いを好む臓器で、乾燥が進むと免疫力が落ち、風邪をひきやすくなるのです。便秘や肌の乾燥、しわの原因ともなるので要注意です。

一般に秋のくだものは肺を潤してくれませんが、意外な助っ人を今日は紹介しましょう。「お芋三きようだい」です。山芋、さつま芋、里芋さん(三)ズ。まず山芋さんから。からだに必要な潤いを与え、肺を潤し腎機能を高めてくれます。さらに胃腸の働きを高め消化にもよいことから、猛暑で疲れた胃には特におススメです。

さつま芋もからだを潤す働きがあり、胃腸の働きを高めて便秘改善。むくみにも効果があります。さて、里芋ですが、胃腸の機能を整えるだけでなく、老廃物や痰を出し、むくみを取り除いてくれます。となると、今晚は三きようだいがゴロゴロ入った芋煮汁かな？

(国際中医薬膳師 小清水由良)

